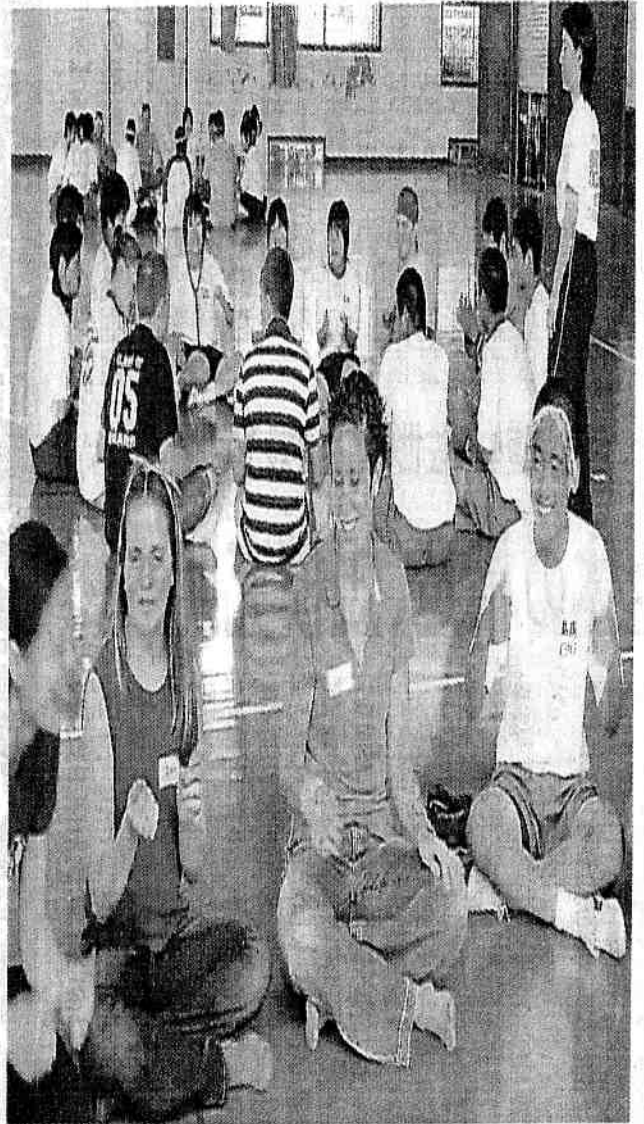


米・コロラド州の高校生17人

島原商高に通学



輪になってゲームを楽しむ日米の高校生

＝島原商高

【島原】米国コロラド州の高校生十七人が島原市を訪れ、県立島原商高（権藤哲郎校長、四百八十五人）で、同校生徒と一緒に学習するなど交流を深めている。

同州のベア・クリーク高の生徒で、島原滞在は今年十一月十七日。この間、島原商高の生徒や教職員宅にホームステイし、学校に通い授業を受ける。学生の国際交流の仲介業務をしている福岡の団体を通じ交流が決まった。

十三、十四の両日は外国語指導助手（ALT）を交え、双方の生徒が語学を勉強したり、料理や

授業やクラブ活動体験

ゲームなどで交流深める

あすまでホームステイ

パソコンを実習。放課後は茶道部、剣道部などのクラブ活動に参加、島原城や武家屋敷などの名所旧跡も見学し、日本文化の一端に触れた。十五日は体育館などで国際経済科二年生四十人とスポーツやゲームで交流。「リズムゲーム」と呼ばれるゲームでは、日米の高校生が輪になって楽しんだ。

訪日は五回目というトイ・ラウブキ君（一七）は「島原は初めて。城や武家屋敷のある日本的な雰囲気が好き。剣道や日本の慣習に興味があり大変勉強になる」と話した。